



挑戦・学び・成長の季節！

令和5年7月19日
発行 瀬戸中学校
校長 近藤 太

北部Aブロック総体および県総体等の結果

6月10日(土)、11日(日)、17日(土)、18日(日)に「令和5年度北部Aブロック中学校総合体育大会」が実施されました。北部Aブロック総体はこの仕組で行う2回目の総体で、新型コロナウイルス感染症第5類移行後の初めての開催となりました。また、7月9日(日)から開催された徳島県中学校総合体育大会にブロック予選を勝ち抜いた野球部と卓球部(個人戦)が出場しました。両大会において勝利の喜びを得た選手、敗戦の悔しさに涙をのんだ選手、その結果は様々ですが、誰もが一生懸命に力の限りたたかっている姿に、大変感動しました。

そして、各会場にはたくさんの生徒や保護者・家族のみなさまから応援いただき、選手にとって大きな力になったと思います。本当にありがとうございました。

〔北部Aブロック中学校総合体育大会の結果〕

| | |
|---------|---|
| ☆軟式野球 | ・1回戦 瀬戸・鳴門二・鳴門 5-4 藍住(松茂第2G) ・準決勝 瀬戸・鳴門二・鳴門 2-5 大麻(オロナミンC) ・3位決定 瀬戸・鳴門二・鳴門 7-3 松茂・上板(オロナミンC) |
| ☆卓球 | ・団体 男子予選Bリーグ 3勝 2敗(アミハリュール) ・団体 女子予選Aリーグ 1勝 1敗(アミハリュール) ・男子個人 4名が県総体出場 (下込陽太・谷 龍星・藤家勇翔・三谷優羽) ・女子個人 3名が県総体出場 (大山美奈・森本彩姫・田中 希) |
| ☆バレーボール | ・1回戦 瀬戸中 0-2 鳴門中(YGKドーム) |

〔徳島県中学校総合体育大会の結果〕

| | |
|-------|---|
| ☆軟式野球 | ・1回戦 瀬戸・鳴門二・鳴門 4-1 富田・津田(あなんアグリ) ・2回戦 瀬戸・鳴門二・鳴門 1-2 阿南一中(むつみタ) |
|-------|---|

〔徳島県中学校通信陸上大会・その他の競技の結果〕

7月8日(土)、15日(土)には徳島県中学校通信陸上大会に本校から4名の選手(青木みゆさん・松岡美結さん[走り幅跳び第6位]・大杉美結さん・谷本彩寧さん)が100m・200m・走り幅跳び・4×100mリレーの各種目に出場し、練習の成果を十分に発揮しました。

また、本校の藤井悠輝さんは地域クラブである翔耀バレーボールクラブに所属し、見事県総体で優勝しました。8月に開催される四国大会でのさらなる活躍を期待します。

第1回夢・心づくり塾開催



6月5日(月)に全学年を対象に第1回「夢・心づくり塾」を開催しました。今回は「障がい者トップアスリートによる講演会」として講師に徳島県那賀郡那賀町出身で元パラリンピックテニス日本代表の岡部裕子さんをお迎えし、「自分らしく生きる」をテーマにご講演いただきました。

はじめに、岡部さんから車椅子の操作の仕方を教わり、実際に一人ひとりが車椅子体験を行いました。はじめはうまく操作できませんでしたが、コツをつかむとスムーズに乗りこなすことができていました。また、テニスラケットを用いてテニスボールを打つ体験もさせていただきました。

最後に岡部さんから「自分らしく生きるために」大切なことなど、これまでの経験や体験をお話してくださいました。生徒たちにとっては、障がいに対する考え方や未来の自分の生き方を深く考える貴重な機会となりました。



～生徒の感想より～

○今日の岡部さんのお話を聞いて、いろいろと勉強になりました。とくに印象に残ったのは、最後に話していた「自分らしく生きる」ために大切なことです。「自分を知る」「チャンスをつかむ」「準備をする」「大事なことをちゃんと伝える」「自分で考える」「社会の一員として努力する」の中で私にとって一番大切だと思ったのが、「自分を知る」ことです。まずは自分を知らない自分らしく生きられないと思ったからです。

〈体力アップのため「KOBA☆トレ」体験〉



6月26日(月)に体幹トレーニングの第一人者として「KOBA☆トレ」を確立し、トップアスリートのトレーナーを務める木場克己さんをお迎えし、ナルトレタビを履いて足指を鍛える体幹トレーニング等を行いました。実際に足の指先から意識することで、片足立ちのブレが見違えるほど小さくなり、体の軸を整えることができました。少しのスペースでできる体幹トレーニングですので、是非、家族と一緒に実践してみてください。

校内人権に関する意見発表会・全体学習開催



6月30日(金)に、校内人権に関する意見発表会を開きました。各学級の代表4名が、人権について日頃考えていることや人権学習を通じて学んだことなどを発表しました。その後、人権に対する理解を深める全体学習を行いました。学級を代表して発表してくれた人への感想や意見を伝え合う中で、単なる発表にとどまらず、話し合い、そして学び合いへとつながっていきました。誰もが幸せを感じながら生活できる世の中や真に差別のない社会づくりに向けて行動できる生徒を育成するためという、人権教育の本来の目標を達成するための教育活動を今後も継続していきたいと考えています。

1年生

2年生

3年生



～発表者と意見発表内容～

- 1 高橋彩夏さん(1年) 演題「『普通』って何だろう」
(障がい者トップアスリート講演会での学びを個性で彩る世界実現のための行動へ)
- 2 岩木小夏さん(2年) 演題「無意識のうちに」
(無意識な差別への気づきから、障がい者差別への理解や人権意識の高まりを実感)
- 3 下込陽太さん(3年) 演題「みんなで人権意識を変えていく」
(プロスポーツの差別事象から学んだ人種差別解決のための相互理解と絆づくり)
- 4 松岡美結さん(3年) 演題「個性と多様性への正しい認識」
(記事から学んだ、個性や多様性を認める社会づくりのために必要なこと)

鳴門市中学校人権に関する意見発表会開催

7月7日(金)、鳴門中学校において「2023年度鳴門市中学校人権に関する意見発表会」が開催されました。各中学校から代表1名が参加し、本校からは、2年生岩木小夏さんが参加しました。岩木さんは「無意識のうちに」という演題で発表しました。

内容はもちろんですが、発表の声や態度も素晴らしく、結果『優秀賞』となり、表彰式で鳴門市第一中学校赤穂英樹校長先生より表彰を受けました。おめでとうございます。



瀬戸中音楽部 大活躍！！

～北灘西小思い出コンサートに出演！～

6月4日(日)、旧北灘西小学校において「思い出コンサート」が開催されました。徳島県のシンガーソングライターの皆谷尚美さんと音楽部が共演しました。1年生は楽器を持って1ヶ月ですが、この日のために一生懸命練習しました。生徒たちは、たくさんの観客を前に緊張した様子でしたが、音楽の楽しさを肌で実感できた楽しいコンサートになりました。



～せとの子ども食堂に出演！～

6月17日(土)の「せとの子ども食堂」において、音楽部の生演奏会が行われました。ここ数年、コロナ禍のため地域の方々との交流ができませんでしたが、このような地域への貢献という形で練習の成果を様々な場面で披露できればと考えています。



～大塚国際美術館CMに出演！～

7月3日(月)に大塚国際美術館において、同美術館の設立25周年記念CMの撮影が行われ、本校の音楽部が出演しました。部員たちは、プロの撮影監督やカメラスタッフの指示のもと、はじめての体験とは思えないほど、笑顔で楽しそうに演じていました。このCMは、すでに大塚国際美術館のホームページやBGMの担当となった東京スカパラダイスオーケストラのYouTubeでも公開されていますので、ご覧ください。



＜防災教育出前授業の開催～フェーズフリーの浸透をめざす～＞



7月3日(月)に鳴門市危機管理課の方をお迎えし、「災害に備えて」～フェーズフリーのまち鳴門をめざして～と題して授業を行いました。その中でも南海トラフ大地震が発生したときの瀬戸中校区への津波の到達時間や浸水被害などの対処の仕方などについて映像等を用いて詳しく説明していただきました。

その後、「日常時」と「非常時」という2つのフェーズをフリーにする『フェーズフリー』な社会の実現をめざして、「フェーズフリー商品」をグループで考えました。グループからは「らくらくバッテリー」や「ライト付きふでばこ」等を紹介してくれました。短時間でしたが、各グループでアイデアを出し合い、意見交換もできました。

授業を通して、「日常の中でしていることや利用しているものが非常時にも役立つ」ことが大切であると感じました。今後も自分たちにできることを考え、防災教育に取り組んでいきたいと思えます。

